

41153

教科書文庫

4
720
32-1933
200030 1941

58

1933

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

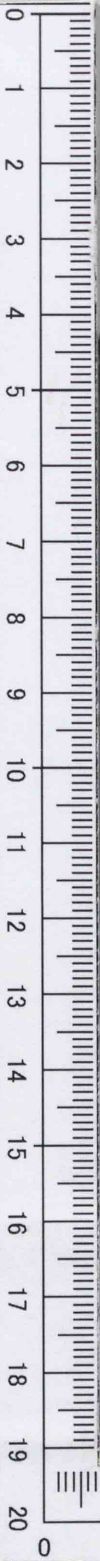
© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak



資料室  
MoA  
375.9

高等  
小學國語書  
本  
方  
年  
手

第二學年女子用

文 部 省

広島大学図書

2000301941



文庫

0  
933  
1941



325.9  
M014

資  
料  
室

教科書文庫  
4  
720  
32-1933  
2000301941

第二學年女子用

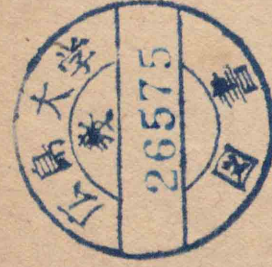
高等  
小學國語書  
本  
方  
手  
本



文  
部  
省

広島大学図書  
2000301941  


東京大学図書



凡例

- 一、本書ノ漢字ハ、古人ノ筆蹟、世間ノ實用等ヲ参酌シテ、書寫ニ便ナル體ヲ選ベリ。タメニ字典ニ載スル所ノモノト體ヲ異ニセルモノモ少カラザルヲ以テ、別ニ字典所載ノ體ヲ掲ゲテ之ガ異同ノ比較ニ資セリ。
- 一、本書ハ、毎卷、和漢古人ノ名筆ヲ選ビ、鑑賞資料トシテ卷末ニ附載セリ。

野 煙、 春 光  
 山 霞、 晚 色。

(新撰朗詠集ニ據ル)

高國女二

高國女二

野 煙 春 光

東京大学図書

山 霞 晚 色

澄神靜慮

具在筆端

澄 神 靜 慮

具 在 筆 端

(宋太宗ノ語ニ據ル)

國破山河在

城春草木深

(杜詩二據ル)

高國女二

8

高國女二

國破山河在

城春草木深

11

顯 微 鏡。 細 菌。

繁 殖。 腐 敗 物。

顯 微 鏡 細 菌

繁 殖 腐 敗 物

御出發後とかく雨がちに御座候  
 處御地は如何に候や一昨日  
 着の御葉書によれば御祖父様  
 の御病氣も大層宜しくいらせ  
 られ候由皆様も何程か御安心あ  
 るばされ候ことと御察し申上候

御出發後とかく雨がちに御座候  
 處御地は如何に候や一昨日  
 着の御葉書によれば御祖父様  
 の御病氣も大層宜しくいらせ  
 られ候由皆様も何程か御安心あ  
 るばされ候ことと御察し申上候

天地正大の氣

粹然として神

州に鐘る

天地正大の氣  
粹然として神  
州に鐘る。

(東湖遺稿二據ル)



鳥 路 梅 雨 を  
含 み、 蟬 聲 麥  
秋 を 送 る。

(和漢朗詠集三擧ル)

萬國五二

7

高國女二

鳥 路 梅 雨 を

含 み、 蟬 聲 麥

秋 を 送 る。

7

租稅收入經

費稅率變更

租稅收入經

費稅率變更

家路を急ぐ少女子が、  
籠に添へたる白百合の、  
にはへるまみのにこやかに、  
足の運もいそくと、  
生氣あふる、朝ぼらけ、  
働く身には望あり。

家路を急ぐ少女子が  
籠に添へたる白百合の  
にはへるまみのにこやかに  
足の運もいそくと  
生氣あふる朝ぼらけ  
働く身には望あり

明月高樹に  
隠れ長河曉  
天に没す。

(唐詩選ニ據ル)

高國女二

10

明月高樹に  
隠れ長河曉  
天に没す

高國女二

+

去 年 今 夜 侍  
清 涼 秋 思 詩  
篇 獨 斷 腸

11

高國女11

高國女2

去 年 今 夜 侍

清 涼 秋 思 詩

篇 獨 斷 腸



+1

恩賜御衣今  
在此捧持每  
日拜餘香

(管家後集二據ル)

高國女二

恩賜御衣今

在此捧持每

日拜餘香

たかくもたわや

がひなに弓とりて

鳴らす弦の音

たかくもあるかな 伴雄

を、しくもたわや

がひなに弓とりて

鳴らす弦の音

たかくもあるかな 伴雄

書	信。	簡	潔。
緊	要。	慰	問。
慶	弔。	親	展。

書	信	簡	潔
緊	要	慰	問
慶	弔	親	展



ふるき都を来て見れば

浅茅が原とぞ荒れにける

月の光はくまなくて

秋風のみぞ身にはしむ

ふるき都を来て見れば

浅茅が原とぞ荒れにける。

月の光はくまなくて

秋風のみぞ身にはしむ。

(平家物語二據ル)

高國女二

葉 凋 山 寺 出

溪 瘦 石 橋 高

葉 凋 山 寺 出

溪 瘦 石 橋 高

(陸放翁詩集二據ル)

法律命令

遵奉違犯

制裁訴訟

制	裁。	訴	訟。
遵	奉。	違	犯。
法	律。	命	令。

長々と川一筋や

雪の原 凡兆

旅人の外は通らず

雪の朝 去來

長々と川一筋や

雪の原 凡兆

旅人の外は通らず

雪の朝 去來

遺 愛 寺 の 鐘  
は 枕 を そ ば  
だ て て 聴 き

高國女二

遺 愛 寺 の 鐘

は 枕 を そ ば

だ て て 聴 き

香 爐 峯 の 雪  
は 簾 を か か  
げ て 看 る。

(和漢朗詠集二據ル)

高國女二

香 爐 峯 の 雪

は 簾 を か か

げ て 看 る

東岸西岸之柳

遲速不同

南枝北枝之梅

開落已異

東岸西岸之柳

遲速不同遅速不同

南枝北枝之梅

開落已異開落已異

(和漢朗詠集二據ル)

高國女二

### 履歷書

本籍 何縣何郡何村何字何番地

現住所 何縣何郡何町何丁目何番地

戶主 鶴吉長女

### 若山藤子

大正九年九月九日生

一 昭和二年四月何縣何郡何村何尋

常小學校ニ入學シ昭和八年三月卒業

### 履歷書

本籍 何縣何郡何村何字何番地

現住所 何縣何郡何町何丁目何番地

戶主 鶴吉長女

### 若山藤子

大正九年九月九日生

一 昭和二年四月何縣何郡何村何尋

常小學校ニ入學シ昭和八年三月卒業



一 昭和八年四月何縣何郡何町何尋  
常高等小學校高等科第一學年  
ニ入學シ昭和十年三月卒業ノ見込

一 賞罰ナシ

右ノ通相違無之候也

昭和十年三月十五日

右 若山藤子

一 昭和八年四月何縣何郡何町何尋  
常高等小學校高等科第一學年  
ニ入學シ昭和十年三月卒業ノ見込  
一 賞罰ナシ

右ノ通相違無之候也

昭和十年三月十五日

右  
若山藤子 印

傳紀貫之書 寸松庵色紙

た、みね

山さとは秋こそこ

とにわひしけれし

かのねなくにめを

さましつゝ

24

高國女二

高國女二

たみね  
山さとは秋こそこ  
とにわひしけれし  
かのねなくにめを  
さましつゝ

二十四

晉 王羲之書 蘭亭序

是日也天朗氣清惠風和暢仰  
觀宇宙之大俯察品類之盛

唐 褚遂良書 雁塔聖教序

上玄資福垂拱而  
治八荒德被黔黎  
斂衽而朝萬國

25

高國女二

高國女二

是日也天朗氣清惠風和暢仰  
觀宇宙之大俯察品類之盛

上玄資福垂拱而  
治八荒德被黔黎  
斂衽而朝萬國

二十五

昭和八年六月廿二日印刷  
昭和八年六月廿六日發行  
昭和八年六月廿九日翻刻印刷  
和八年十月十五日翻刻發行

高等小學國語  
書本  
キ力手本  
第二學年女子用

臨時定價金九錢

著作權所有

著者兼  
發行者

文 部 省

昭和八年七月五日  
文部省檢査日

東京市王子區堀船町一丁目八百五十七番地

翻刻發行 東京書籍株式會社  
兼印刷者代表者

石 川 正 作

東京市王子區堀船町一丁目八百五十七番地

印刷所 東京書籍株式會社工場

東京市王子區堀船町一丁目八百五十七番地

發行所

東京書籍株式會社



教科  
32-  
2000